

# ケアラー支援アセスメント研修

## 開催要綱

**趣旨** ケアラーはこれまで「家族介護者」「家族内のケア問題」と認識されており、ケアラー自身の困りごとや人生についてはSOSを出しづらく、周囲から見えづらい存在でした。そのため、ケア世帯にかかわる専門職はケアラーの抱える課題にいち早く気づき、適切な支援につなげていくことが重要です。

本研修では、ケアラーに寄り添ったアセスメントをすすめるためのポイントとツールの活用方法について学びます。

### 研修のポイント！

#### ケアラーアセスメントツールの活用方法が学べます

ケアラー支援推進センターが作成した「ケアラー支援アセスメントシート」の活用方法がわかりやすく学べます。

#### ケアラー支援をすすめるためのネットワークが広がります

講師や他の参加者と意見を交換しながら進めるので、終了後も気軽に相談できる仲間づくりができます。

#### 開催形式

集合

#### 日程・会場

令和7年12月12日（金）  
札幌市／かでの2. 7 4階 大会議室

#### 対象

ケアラー支援に興味関心がある福祉関係者

※「ケアラー支援関係機関職員等研修（応用研修）または初年度研修を修了した方が望ましい

#### 定員

60名

※申込み多数の場合は、一事業所あたりの受講者数を制限、または先着順とする

#### 研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

#### 申込期間

令和7年10月10日（金）

#### 受講可否

令和7年11月14日（金）

## プログラム

時間	研修科目	研修内容
9:45~10:15	受付	研修費用の支払い
10:15~10:30	オリエンテーション	日程、資料等の確認
10:30~11:00	講義1 「ケアラー支援の現状と課題」	ケアラー支援について、現状と課題、国の動向等を確認し、専門職に求められる役割について再認識します。
11:00~15:00 ※昼食休憩 60分 程度を含む	講義2・演習 「ケアラーを支援するためのアセスメント」	ケアラー支援アセスメントシートを活用した演習（グループワーク）を通して、ケアラーに寄り添うアセスメントについて学びます。
15:00~16:00	総括	前段の演習から、改めてケアラー支援アセスメントシートの活用ポイントを学び、今後、自身が専門職としてどのようにケアラー支援をすすめていくか、考えます。
16:00~16:10	閉講	

### <ケアラー支援に関する現状>

令和4年4月に「北海道ケアラー支援条例」が施行され、今年で3年が経過しました。令和7年7月現在では、道内6市町で独自にケアラー支援に関する条例が制定されています。

国でも「認知症基本法」「医療的ケア児支援法」等、ケアラー支援（家族支援）に言及する個別法が制定されたり、令和7年度の「骨太の方針2025」においてケアラー関係が明記（※）されたり等、ケアラー支援は今や地域づくりにおける重要な課題となっています。

これまで家族介護の中で「キーパーソン」「介護の担い手」としての役割を果たしてきたケアラー（家族介護者）ですが、近年ではケアラー自身の心身の不調や孤独・孤立、介護離職（ワーキングケアラー問題）、介護殺人・自殺等の課題がみえてきました。また、小中高校において、ひとクラスに1~2人のヤングケアラーが存在していることもわかり、ケアラー問題は大きな社会課題であることが認識されています。

※令和7年度より、「誰一人取り残さない社会の実現（共生・共助）」にケアラー支援が明記されています